

インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年6月25日聖日第2礼拝

上半期を締めくくりに当たり

「感謝を忘れないために」

ルカの福音書

17章11節～19節

梅田登志枝牧師

- 11 そのころイエスはエルサレムに上られる途中、サマリヤとガリラヤの境を通られた。
- 12 ある村に入ると、十人のツアラアトに冒された人がイエスに出会った。彼らは遠く離れた所に立って、
- 13 声を張り上げて、「イエスさま、先生。どうぞあわれんでください」と言った。
- 14 イエスはこれを見て言われた。「行きなさい。そして自分を祭司に見せなさい」

い。」彼らは行く途中できよめられた。

15 そのうちのひとりには、自分のいやされたことがわかると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、

16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。

17 そこでイエスは言われた。「十人きよめられたのではないか。九人はどこにいるのか。」

18 神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかには、だれもいないのか。」

19 それからその人に言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰が、あなたを直したのです。」

説教

上半期を締めくくりに当たり
「感謝を忘れないために」
ルカの福音書
17章11節～19節

梅田登志枝牧師

初めに

今朝は2017年の前半を締めくくる主の日であり、また後半へ踏み出す中間地点。この半年間、個人的に、あるいは家庭的に、また教会としても様々な出来事を通して、今朝、自らがこの礼拝に席を占めていることを心から感謝したい。

説教箇所背景

ルカの福音書17章11～19節は10人のツァラアトに苦しむ人々が、イエス様に癒された出来事が書かれている。このツァラアトを持つ10人が癒され、1人のサマリヤ人が引き返してイエス様のところに戻り、ひれ伏して感謝した。イエス様に感謝したサマリヤ人の姿から、「感謝を忘れないために」何が大切なのかを見てみたい。

・ 自分を知ること

神様への感謝を忘れないためには、
自分自身を知ることが大切

1．病人であること(12節)

この人は社会から排除されるほどの
病気である事を自覚

2．サマリヤ人であること(16節)

次に、この人は自分がサマリヤ人
であることを自覚

・ 神様ご自身を喜ぶこと

神様がくださる恵みや祝福を喜ぶ
以上に、私たちが神様ご自身を喜
ぶ信仰を持っていることが大切。

15節、16節

神様ご自身を喜ぶ信仰はなぜ大切
なのか？

・ 神様ご自身を喜ぶこと

1．高慢の罪から守られるため

クリスチャンになり、きよめの信仰に立っても、なおその傾向性は、しばしば弱さとして現れ、信仰生活の課題となることがある。私たちは意識して徹底的に神様の聖業を讃え、神様にすべて恵みの源があることを感謝しなければならない。

・ 神様ご自身を喜ぶこと

2．力ある信仰生活を送るため

ネヘミヤ記8:10

「主を喜ぶことはあなた方の
力であるから」

環境や状況がどうであろうと、いちいち一喜一憂しない、ぶれない、揺れ動かない力ある信仰に育つためにも神様ご自身を喜ぶことを身につけたい。

結論 .

今日は一人のサマリヤ人から
「神様への感謝を忘れないために」
という内容で話をした。

自分をわきまえ、主ご自身を喜
びながら、新しい週を迎え、年
の後半に踏み入らせていただき
たい。